



訪日外国人観光客の 決済体験向上を考える

李月然

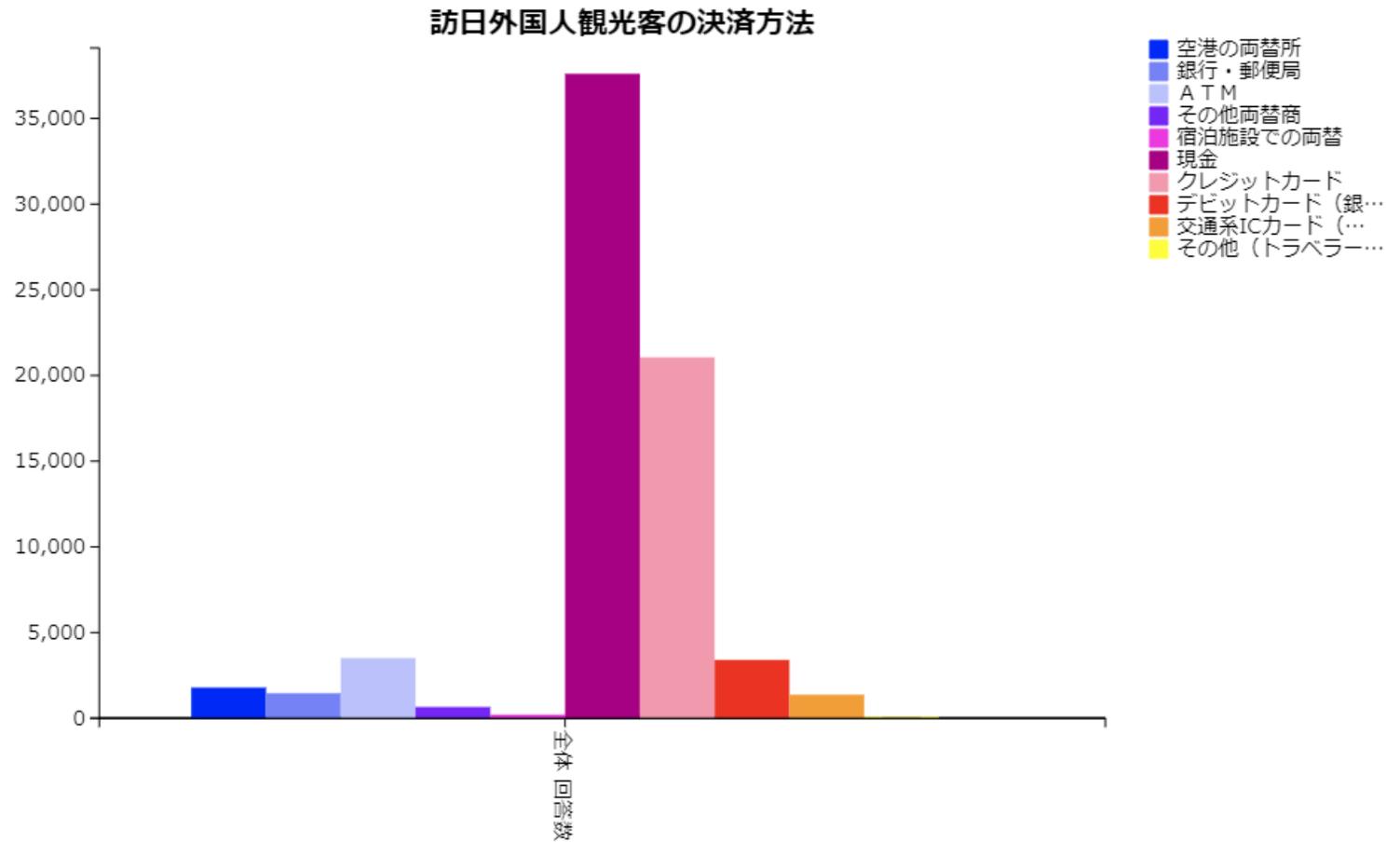


WSの概要と目的

外国人観光客の決済方法は主に現金である。現金では不便さと安全性などの問題がある。

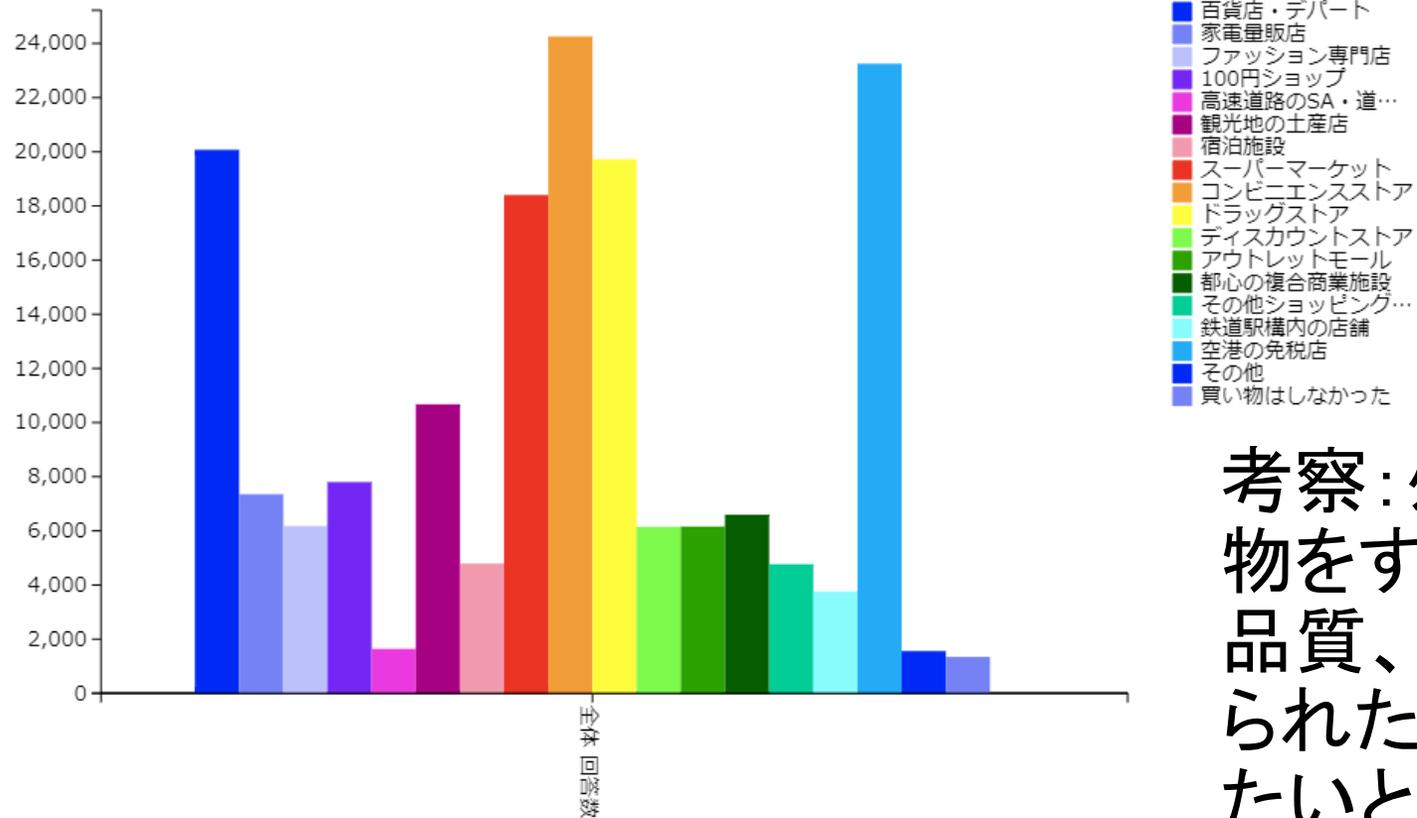
このワークショップは外国人観光客の決済体験向上を考える。

考察：中国のWeChat PayやアメリカのApple Payなど、主要国のモバイル決済が使えない場合が多いから、両替して現金を使うしかなかった。



データソース: 政府統計の総合窓口訪日外国人消費動向調査
<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003317283>

外国人観光客の買い物場所

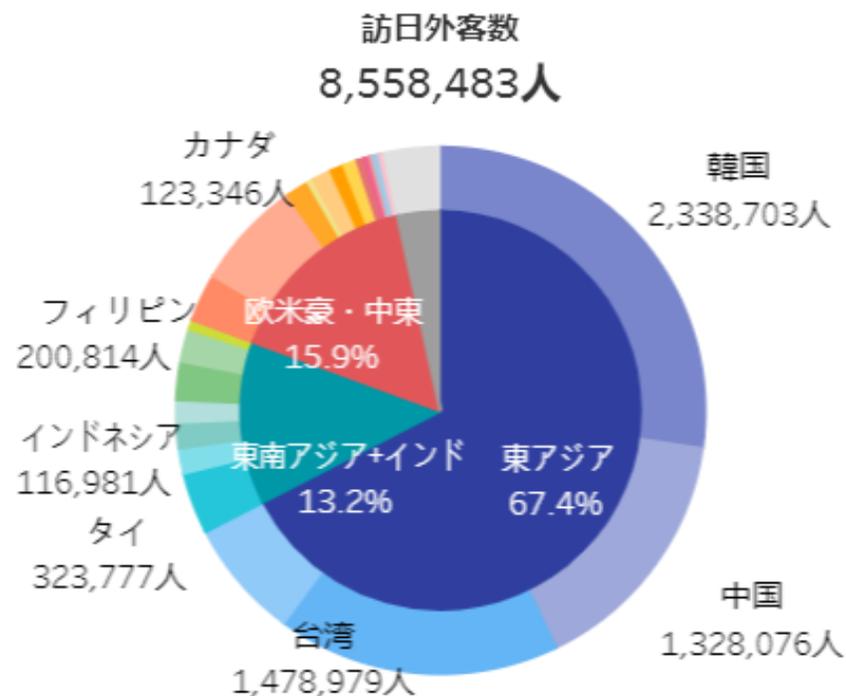


外国人観光客が頻繁に買い物をするところは百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストアと空港の免税店である。

考察：外国人観光客が頻繁に買い物をする場所から、彼らは利便性、品質、価格に対する関心を持ち、限られた時間で効率的に買い物をしたいと考えていることがわかる。

国別来訪者の推計

2024年 各国・地域別の内訳



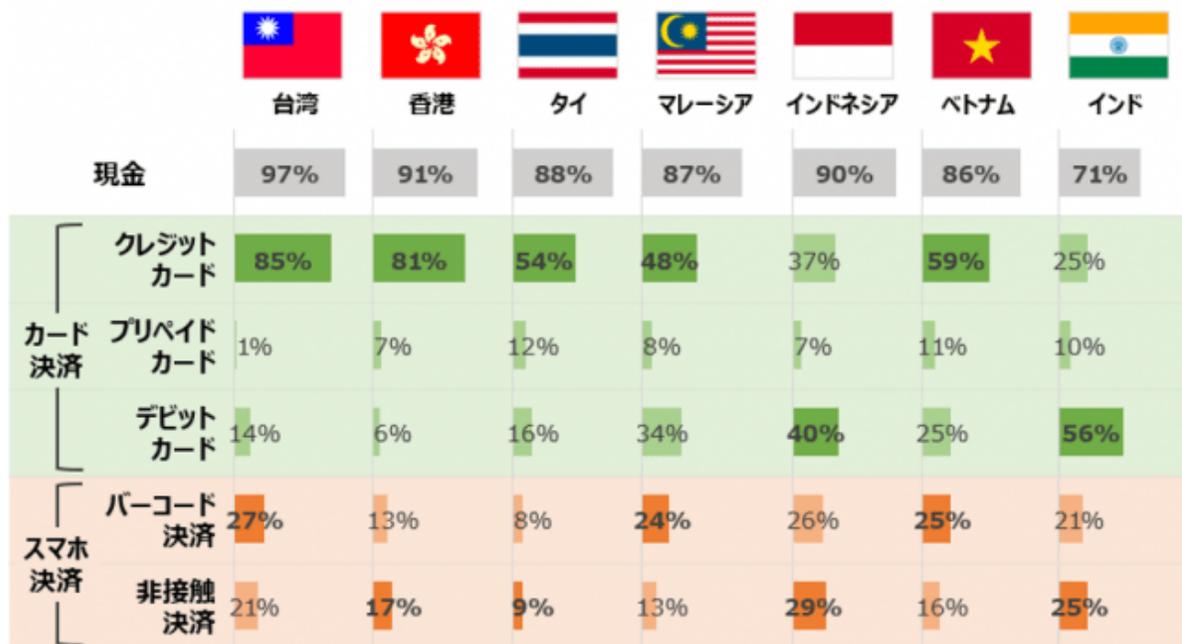
訪日外国人観光客は約8割がアジアの人であり、今回はアジア圏に絞って検討する。

日本政府観光局 (JNTO)

<https://statistics.jnto.go.jp/graph/#graph--inbound--travelers--transition>

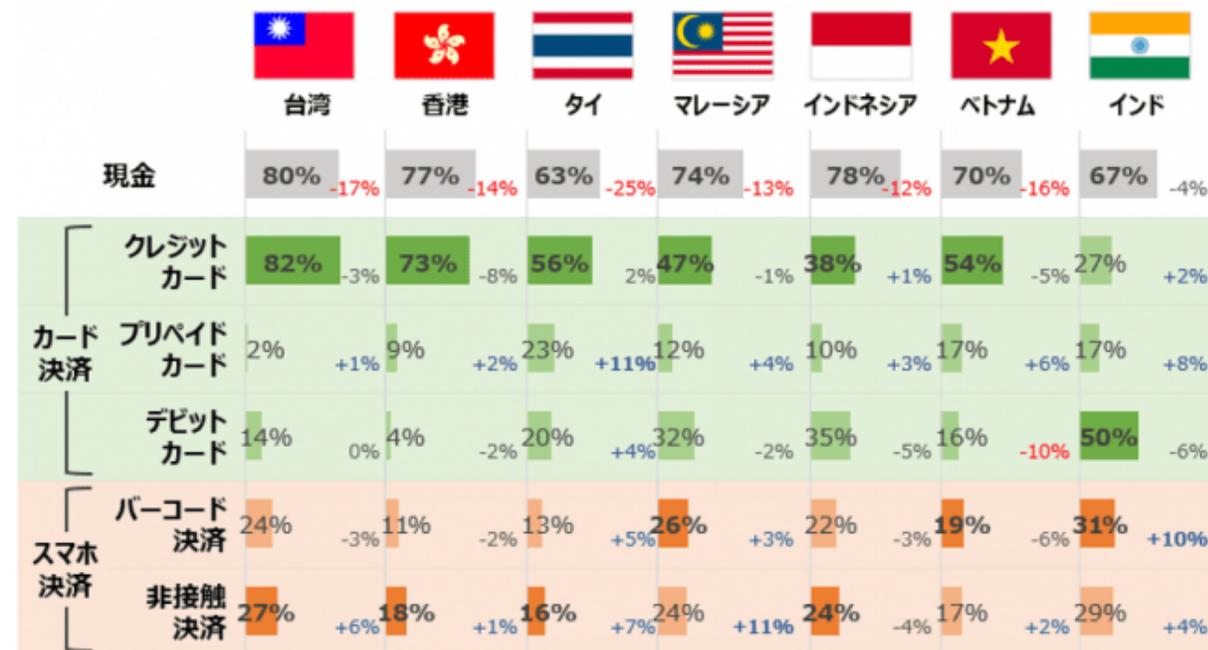
日本旅行中理想の決済手段

Q.日常的な買い物でよく利用する決済手段は？（複数選択）



Q.日本旅行中の理想の決済手段は？（複数選択）

※グラフの右の数字は日常的によく使う決済手段との差

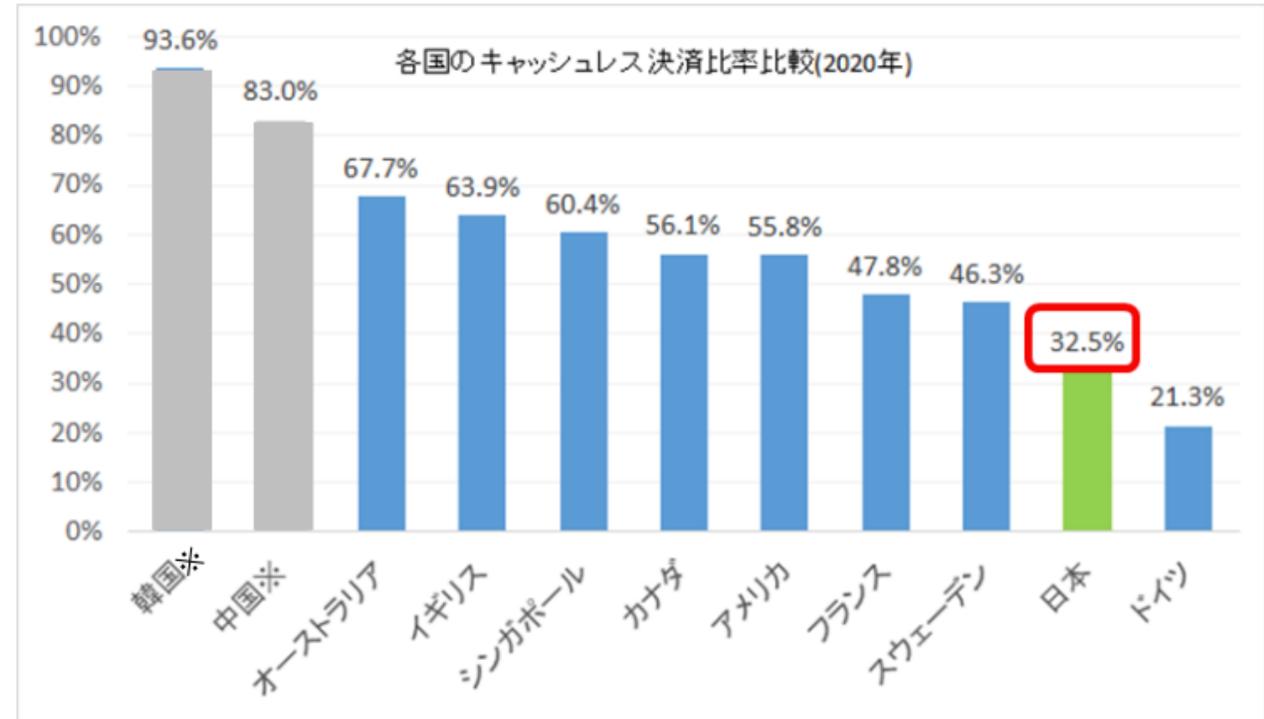
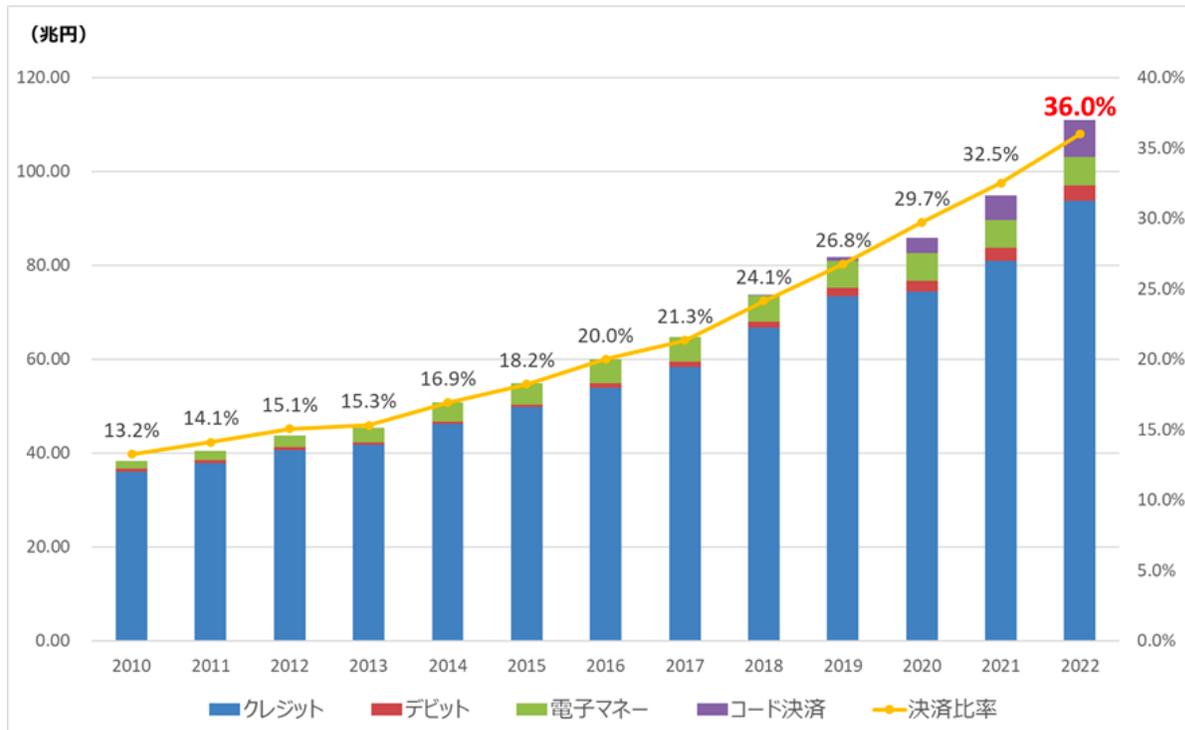


いずれの国でも日常的な決済手段と比較すると現金払いの割合は減少し、特に台湾は現金払いよりもクレジットカード払いが人気である。

考察：日本旅行においてキャッシュレス決済のニーズは高いと思われる。

データソース：FUN! JAPANオンライン調査
<https://yamatogokoro.jp/inboundnews/pickup/36965/>

日本および世界各国における電子決済の普及率



左の図だけみると日本は順調にキャッシュレス化は進んでいるように見えるが、右の図の諸外国と比べると、日本はかなり遅れているのが現状である。

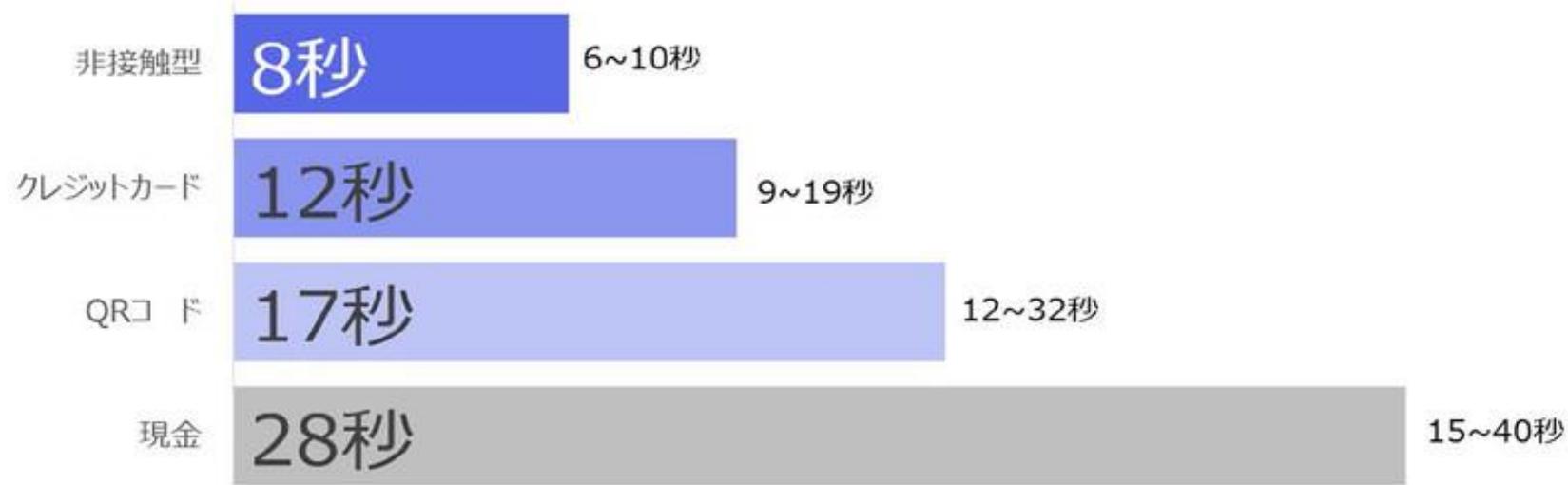
2022年のキャッシュレス決済比率を算出しました

<https://www.meti.go.jp/press/2023/04/20230406002/20230406002.html>

キャッシュレス更なる普及促進に向けた方向性

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/cashless_future/pdf/001_05_00.pdf

レジでの会計時間



キャッシュレス決済は現金よりも16秒速く、非接触型に限ると現金よりも20秒速いである。

考察: クレジットカードは現金より遥かに便利だとわかる。利便性と安全性の原因から、キャッシュレス決済が良いことがわかる。

データソース: JCB調査

<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/1203862.html>